

御万人（うまんちゅ）ぴーすふるアクション
ぴーすふるシンポジウム（カット1 開会および主催者挨拶全文）

【開会】

司会 佐渡山美智子（フリーアナウンサー）

○司会：皆さん、こんにちは。はいたい、ぐすーよー、ちゅーうがなびら。

沖縄県が主催いたします「御万人ぴーすふるアクション ぴーすふるシンポジウム」を、ただ今より開会いたします。私は本日の司会進行ならびにコーディネーターを務めさせていただきます、佐渡山美智子です。どうぞよろしくお付き合いください。

本日はこの会場まで、沖縄に思いを寄せて足をお運びいただいたことに心から感謝申し上げます。本日のシンポジウムは、新型コロナウイルス感染予防の観点から、会場はソーシャルディスタンスに配慮したお席を準備しています。

併せて、インターネットを使ったオンライン中継、配信を行っております。このようなかたちで多くの方々にご一緒いただきたいと思います。と思っています。

会場内のお客様、感染予防へのご協力ありがとうございます。また、オンライン視聴者の皆さま、このあと皆様のご意見をきちんと頂けるようなかたちで準備を整えておりますので、よろしくお付き合いください。

なお、ここで皆様にひとつご案内と、ご了承いただきたいことがございます。

本日のぴーすふるシンポジウム、講演者といたしまして、認定NPO法人国際協力NGOセンター（JANIC（ジャニック））理事長の本木恵介様に御講演頂く予定でしたが、体調が万全ではないということで、コロナ禍の状況下でもあり、念のため大事を取りまして、本日は事務局長の若林秀樹様にご登場いただくことになっております。どうぞご了承くださいませ。

それでは、これより開会いたします。

まずは主催者よりごあいさつを申し上げます。沖縄県知事玉城デニーからのあいさつを、本日は沖縄県子ども生活福祉部生活企画統括監の座安治が代読いたします。

【1. 主催者あいさつ・取り組み紹介】

沖縄県知事 玉城 デニー

代読 沖縄県子ども生活福祉部生活企画統括監 座安 治

○座安：知事からあいさつを預かってまいりました。私のほうから代読いたします。

（以下、挨拶代読）

「はいさい、ぐすーよー、ちゅううがなびら。皆さま、こんにちは。「びーすふるシンポジウム」の開催にあたり、ごあいさつを申し上げます。本来であれば、多くの皆さまにご参加いただき本シンポジウムを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場での参加と併せて、500名のオンライン聴講を可能とし、会場にお越しいただけない全国の皆さまに向けてライブ配信を行っております。」

「沖縄県では、先の大戦において、住民を巻き込んだ過酷な地上戦が繰り広げられ、多くの尊い命が失われたばかりでなく、かけがえのない文化遺産が破壊されました。このような体験を通して私たち沖縄県民は、命の尊さと平和の大切さを肌身で感じながら、世界の恒久平和の実現を強く求め続けております。」

「そのためには、沖縄戦で得た教訓を正しく次世代に伝え、平和のメッセージを発信し続けることが重要であると考えており、平和祈念資料館における沖縄戦の実相の記録、展示や、沖縄戦終結50周年を記念して建設した「平和の礎」に、国籍を問わず沖縄戦などで亡くなった全ての人々の氏名を刻銘する取り組みを行っております。」

「平成13年度には、沖縄平和賞を創設して、アジア・太平洋地域の平和の構築・維持に貢献する活動を行う団体を顕彰し、県民の平和への思いを発信してまいりました。先月、記念すべき第10回の沖縄平和賞を、日本のNGOの活動を長年にわたって支え、世界の平和と人間の安全保障の実現に貢献してきた、特定非営利活動法人国際協力NGOセンターに贈賞したところです。」

「これまでの取り組みに加え、昨年度から新たに「御万人びーすふるアクション」と題して、みんなで沖縄戦の実相を学び、平和の尊さを考える機会をつくり、それぞれが行動していくためのきっかけとなる取り組みを進めております。本日の「びーすふるシンポジウム」は、新時代における平和の意味と、私たち一人一人に何ができるかを問い掛け、考えていくことを目的としております。」

「本シンポジウムでは、第10回の沖縄平和賞の受賞団体である特定非営利活動法人国際協力NGOセンター事務局長の若林秀樹様に、そして、ひめゆり平和祈念資料館館長の普天間

朝佳様にご講演をいただきます。また、講演の後には、琉球大学の山本章子様、そして、びーすふるメッセンジャーの金城和希様にご登壇いただきパネルディスカッションを行います。ご多忙の折お引き受けいただきました講師およびパネリストの皆様に対し、心から感謝を申し上げます。」

「結びに、ご来場の皆様のますますのご健勝をお祈りするとともに、平和を希求する沖縄の心が世界中に伝わり、恒久平和が実現することを祈念して、ごあいさつといたします。令和2年11月21日、沖縄県知事、玉城デニー」。

代読でございました。

○司会：まずは主催者よりごあいさつを申し上げます。沖縄が平和のメッセージを発信する、このことの意味を、戦後75年、あらためて共に考えていただけたらありがたく存じます。

それでは、これより「びーすふるシンポジウム」第1部、講演会を始めます。これよりマスメディアの方を除いて、写真撮影、動画の撮影はご遠慮いただきたいと思います。また、オンライン中継で今、同時配信しております。アプリケーション録画機能はオフにさせていただきます。どうぞご了承ください。

(終了)

(カット2 特別講演全文へ続く)